学校番号	305

令和８年度　(学)人文ステップアップ

教科	(学) 人文ステップアップ	科目	古典特別講座Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「精選古典探究」　(大修館書店)						
副教材等	「学ぶぞ　古文と漢文」、「学ぶぞ　古文と漢文　基本練習ノート」(全国高等学校国語教育連合会)　「デジタル版国語便覧改訂版」　(大修館書店) 「「Key&Point　みるみる覚える古文単語　300＋敬語 30　三訂版」(いいずな書店) 「基礎古文１＋」(尚文出版)						

1　担当者からのメッセージ(学習方法等)

古典は何のために学ぶのでしょう。これは国語の授業をしていると必ず出てくる質問です。これから２年間、皆さんは古典の世界にどっぷりと浸かります。文法や読解を深めていくたびに、「何のために学ぶのか」という問いの周りをぐるぐると回り続けることになるでしょう。そしてその問いに、自分なりの答えを出していくことが「探究」と呼ばれる学習なのです。
日本語という言葉がどのように生まれてきたのでしょう。言葉と文化はどのような関わりを持ってきたのでしょう。今、私たちはどんな言語世界を生きているのでしょう。週２時間の授業の中で、そんな問いを生きてみませんか？
この授業では以下のことを約束してほしいと思います。
①語彙力や文法の知識を身につけてください。
②さまざまな文章を「読む」だけでなく、「話す・聞く」「書く」という対話的な力も身につけましょう。
③予習として必ず本文を読んできましょう。わからない語句は積極的に辞書を引く習慣を身につけてください。
④学んだ後は必ず振り返るようにしてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方・考え方を豊かにしている。
【思考力、判断力、表現力等】
・古典を読み味わい、作品の価値を考察している。
・複数の作品を比較したり、課題について調べたり、発表したり、文章にまとめたりしている。
【学びに向かう力、人間性等】
・古典についての理解や関心を深めることによって、人生を豊かにする態度を育んでいる。

3　評価の観点及びその趣旨

点観	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」，「読むこと」の各領域において，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	説話 ［教材］ 古本説話集（平中が事） 古今著聞集（小式部内侍が大江山の歌の事）	a:・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などににについて理解している。 b[　読む　]: ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:・和泉式部が詠んだ哀傷歌を調べ、詠まれた状況や歌に込められた思いを知ることで和泉式部の人物像について考察しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ノート ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	物語 ［教材］ 伊勢物語（初冠） 竹取物語（火鼠の皮衣）	a:・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 b[　読む　]: ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 c: ・『竹取物語』第三段落の効果について、物語の内容をふまえとらえようとしている。・『伊勢物語』の歌物語としての意義を理解し、和歌から登場人物の心情をつかもうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ノート ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	日記 ［教材］ 更級日記（門出／源氏の五十余巻）	a:・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[　読む・書く　]: ・「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 c:	定期考査 小テスト	定期考査 ノート ワークシート	ワークシート 振り返りシート

		・日記に興味をもち、関連のある事柄について資料を調べたり、読書の意義や効用を理解しようとしている。			
	随筆 ［教材］ 徒然草（奥山に、猫またといふものありて／相模守時頼の母は） 方丈記（行く河の流れ）	a:・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 b［ 読む ］: ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c: ・随筆を読んで作者の人生観やものの見方を理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ノート ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	諸家の思想 ［教材］ 孟子（不忍人之心） 荀子（人之性悪） ［教材］	a: ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b［ 読む ］: ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c: ・諸家の思想について興味を持ち、それぞれのものの見方や考え方を捉えようとしている。〃	定期考査 小テスト	定期考査 ノート ワークシート	ワークシート 振り返りシート

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　５０　）時間